

2026

9.16(水)~11.23(月・祝)

休室日：毎週月曜日(9月21日、10月12日、11月23日を除く)、9月24日(木)、10月13日(火)
開館時間：10:00-18:00(金、土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで
主催：千葉市美術館

Closed: Mondays (except September 21 and October 12, November 23), September 24, October 13
Hours: 10:00-18:00 (Fridays and Saturdays until 20:00)
Organized by Chiba City Museum of Art

千葉開府900年記念特別展

Special Exhibition for the 900th Anniversary
of the Foundation of Chiba

星と

と

美術が
つなぐ
とき



Moon, Stars and ...

When Art Links Time,
People and Things

作品画像 [上から (すべて部分)]

渡辺望 (UNTITLED - Can a mere stone be the moon?)
2019年 © Nozomi Watanabe Photo by Junji Kumano 藤沢市
アーツスペース提供

田岡春佳 (妙見尊出現之図) 旧壁画 1967年 千葉市立
郷土博物館蔵

三沢厚彦 (Animal 2023-01) 2023年 千葉市美術館
© Atsuhiko Misawa Courtesy of Nishimura Gallery Photo by
Kei Okano

フランチェスコ・ブルナッチ (ブルナッチ天球図) 1687
年 千葉市立郷土博物館蔵

[青景図版] 宮島達男 (地の天) 1996年 千葉市美術館蔵
© Tatsuo Miyajima Photo by Nobutada Omote

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



展覧会関連イベント

事前申込制イベントの詳細や申込方法は、
美術館ホームページをご覧ください。

●ライブ

「月と星と 音楽がつなぐとき」(事前申込制)

出演：高田漣、グッドラックヘイワ

11月9日(月) / 1階さや堂ホールにて / 定員50名 /

申込締切：10月28日(水) / 参加費4,000円(展覧会チケット込)

※上演時間は後日美術館ホームページにてお知らせします。

●参加作家によるギャラリートーク

出演：植松琢磨、宮内由梨、渡辺望、渡辺泰子

10月17日(土) 14:00-15:30 (13:30開場予定)

8階展示室にて / 先着30名(当日12:00より1階にて整理券配布)

／聴講無料(要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可)

●アーティストトーク(事前申込制)

出演：青木野枝、川内理香子、高田安規子・政子、
松尾知子(当館副館長)、森啓輔(当館学芸員)

11月7日(土) 14:00-15:30 (13:30開場予定)

5階ワークショップルームにて / 定員80名 /

申込締切：10月28日(水) / 聴講無料(要展覧会チケット・半券、招
待券、友の会会員証可)

●ワークショップ

「“みる”と“つくる”を楽しむ—ステンド
グラスでつなげるイメージの世界」(事前申込制)

講師：鵜澤直美(UZAWA STAINED GLASS / ステンドグラス作家)

①10月10日(土) 13:00-17:00 / ②10月11日(日) 13:00-17:00

※両日ともプログラム内容は同じ

5階ワークショップルームにて / 定員：各回10名 / 対象：小学
3年生～大人 ※小学4年生以下は要保護者同伴 / 応募受付期間：

7月24日(金)～9月29日(火) / 参加費4000円(材料費込、大人
は要展覧会チケット)

●担当学芸員によるギャラリートーク

9月16日(水) 14:00より / 参加無料(要展覧会チケット・半券、
招待券、友の会会員証可)

●美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

会期中の毎週水曜日(9月16日を除く) 14:00より

8・7階展示室にて / 先着15名(当日13:30より8階受付にて整理
券配布) / 参加無料(要展覧会チケット)

※水曜日以外の14:00にも開催することがあります。

※混雑時には中止する場合があります。

●ちばしび託児サービスデー(事前申込制)

11月7日(土) 13:00-16:00

同時開催

5階常設展示室

「千葉市美術館コレクション選」

休室日：第1・3月曜日(9月21日を除く)、9月24日(木)、10月
6日(火) 企画展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ

「つくりかけラボ21 清水裕貴 | 幽霊椅子事件」

2026年6月20日(土)～10月4日(日)

休室日：第1・3月曜日(7月20日、9月21日を除く)、7月21日
(火)、9月24日(木) 観覧無料

「つくりかけラボ22 タムラサトル | 1トンになる」

2026年10月17日(土)～2027年1月31日(日)

休室日：第1・3月曜日(11月23日、1月11日を除く)、11月24日
(火)、1月12日(火)、年末年始 観覧無料

次回展予告

「八木一夫、その家族」

2026年12月9日(水)～2027年2月11日(木・祝)

コレクションの輝き Sparkle of the Collection

新収蔵作品(三沢厚彦《Animal 2023-01》)をはじめ
月星をテーマとする時代を超えたコレクション



三沢厚彦《Animal 2023-01》2023年 千葉市美術館蔵
© Hirohiko Matsuda. Courtesy of Hirakawa Gallery. Photo by Rui Otsuka



高橋北斎『宮城古蹟』より「鳥居の不二」
文政5-7年(1824-26)頃 千葉市美術館蔵



王直徳『浮世米文図』
享和時代1847年(正和)
千葉市立郷土博物館蔵



ドッペルマイヤー/イェーニツク作
(文政版) 1730年/18世紀後半
千葉市立郷土博物館蔵



(千葉市立郷土博物館蔵) (千葉市立郷土博物館蔵) (部分) 室町時代・徳川幕府成立・幕府江戸時代初期 郷土博物館蔵

星の信仰

Faith of Stars

私たちはなぜ夜空に輝く月や星に惹かれ、祈り、願うのでしょうか。

千葉のまちは平安時代後期の大治元年(1126)に、平常重が現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠地を移し、「千葉」と名乗ったことからその歴史が始まりました。千葉氏が一族の守護とした「妙見」への信仰*は、星空の下に人々を結び付け、今日に至るまでまちのアイデンティティの確立に大きな役割を担ってきました。開府900年の年にあたる2026年、千葉市美術館では特別展「月と星と—美術がつなぐとき」を開催し、近世の美術から現代アートまで約150点の作品を展覧。人々と深い関わりを持つ月と星にまつわる多様な表現を紹介します。

本展では千葉の地が紡がれてきた芸術文化の継承も重要なテーマのひとつです。修復後、初公開となる日本画家・田岡春経の横8メートルを超える旧壁画《妙見尊出現之図》(千葉市立郷土博物館蔵)や、現代美術家・宮島達男の大規模なインスタレーション《地の天》(千葉市美術館蔵)をはじめ、様々な作品が歴史や伝承、伝説を現代に繋ぎ、私たちが未来を創造していくための光となることでしょう。

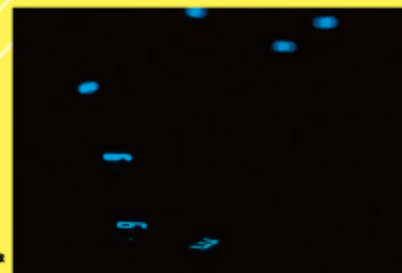
*「妙見」信仰——北極星とこれをめぐる北斗七星を神格化した信仰。古代中央アジアなどの北極星信仰を起源とし、中国から仏教や道教、儒教、陰陽道を取り込みながら日本に伝わり多様に展開。天宮から人を見守り、方向を示し、人の運命を司る神として広く崇拝された。

再生の光 Light of Rebirth

宮島達男の大型インスタレーション作品などを修復後、初公開



田岡春経《妙見尊出現之図》印刷版
昭和42年(1967) 千葉市立郷土博物館蔵



宮島達男《地の天》(部分) 1996年 千葉市美術館蔵
© Tatsuo Miyajima. Photo by Nobuko Orita

月星にまつわるアートの現在

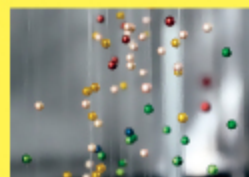
Current Works of the Moon and Stars



高田安規子・秋子《Attractive force (Moon circle)》2005年
© Aki and Masako Takada. Photo by Yui Hata



井内将幸子《Stars Through a Spider Web》
2006年 © Makiko Inoue. Courtesy of the artist and WATKINROOM



星見原展《scene of the observatory》2016年
© Takuma Ikenaka. Courtesy of Yonaka Chiba Association



青木野枝 プラントローイング 2026年 © New Aoki



渡辺泰子《to far away [no.000] speed》2006年
© Yukiko Watanabe. Courtesy of Yonaka Chiba Association

観覧料：一般1,500円(1,200円)、大学生1,000円(800円)、小・中学生、高校生無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は要領者、団体30名以上、市内在住65歳以上の方の料金 ※月10日(日)は「市民の日」につき観覧無料 ※ナイトミュージアム割引(金・土曜日)の18.00以降は観覧料2割引き ※本展チケットで5階特設展示室「千葉市美術館コレクション」もご覧いただけます。 ※観覧券等は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード:323822)、サブウェイ(サブウェイチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月15日まで販売(9月16日以降は当日券販売) ※印刷物の頒布はございません。

Admission: Adults ¥1,500 (¥1,200) / College students ¥1,000 (¥800) / Other students (high school and younger) free

*Persons with disabilities are admitted free of charge along with one attendant. *Rates in parenthesis for advance sale tickets, groups of 20 or more, and Chiba city residents age 65 and older. *Night Museum discount, Fridays and Saturdays after 6 pm: 20% off *Tickets for this exhibition can also be used to view "Selection from the CCMA Collection" in the 5th floor Collection Gallery. *Advance tickets available at the museum shop, Lawson Ticket (L code: 323822), Seven-Eleven (Seven Ticket), and Chiba Urban Monorail ticket counters at Chiba Minato, Chiba, Tsuga, and Chichirōdai stations until September 15 (same-day tickets available thereafter). *Admission free October 18 for Chiba City Citizens' Day. *Discounts cannot be combined.

交通案内

- JR千葉駅東口より
徒歩約15分/バスのりば7番より美術館駅または南大井駅にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール福町駅より徒歩約10分/「南川口駅」下車徒歩約6分
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- 東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で笠野本ジャンクションから水更井方面へ、長峰IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
※地下に地下鉄駅があります(車庫150mです) ※シェアサイクルスポットがあります

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

T280-0315 千葉市中央区のり3-10-6
Tel. 043-221-0311(内線)
3-10-6 Chiba, Chiba-Pref., Chiba 260-0013, Japan
https://www.ccma-mf.jp

